

令和5年度 事業報告書（さわら福祉会）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

I 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、各施設において制限されていたイベント活動を再開し、更なるサービスの質の向上及び稼働率の維持に繋げることができました。また、職員に対する研修や交流会についても活発に実施することができました。

マナハウスでは、テクノロジーを活用した介護による生産性向上（介護サービスの質の向上と負担軽減の同時実現）及び介護職員による胃ろうと喀痰吸引を実践し、医療ニーズの高い利用者においても職員負担を軽減しながら行うことができました。また、地域貢献活動についても徐々に再開し、「ふら〜っとカフェ壱岐南」や「壱岐南てつだい隊」にも積極的に参画できました。施設全体（特養・ショート）の稼働率については、94.6%（前年比0.2%増）となりました。

マナハウス2番館では、令和5年5月に新規開設し、開設年度の目標は、満床とその後の稼働率の安定としました。令和5年10月には29名の登録を達成したが、入居者の入院等が重なり、実質満床は12月になりましたが、その後の稼働率は安定しています。稼働率については、73.6%となりました。

大池けいあい保育園では、裸足でのどろ遊びや畑での野菜づくり、花壇の世話等で情操を育て、ターザンロープや登り棒などでの感覚機能が発達し、逆上がりを7回転する子やとび箱7段を飛べる子など、身体能力が顕著に育っています。また、保育方針として掲げているアクティブラーニングが浸透し、運動会の種目決めや司会進行、リレーの出走順決め等を子どもたちが担うなど、行事自体が子ども主体となって対話的に計画実施する活動となってきました。運動会には保育・教育関係の6施設から見学に来られ、次世代の運動会スタイルとして子どもたちの活動を見ていただきました。令和6年3月時点の定員充足率は、121.3%となりました。

愛宕けいあい保育園では、コロナが5類になり、ようやく保育士もマスクを外した姿で保育ができるようになりました。これまで目でしか大人の表情が見られなかった子どもたちが、安心して毎日が過ごせる日常が戻ってきました。今年度は、「子どもを主体にする保育」「安心して失敗できる毎日を保障する」保育園を見学したいと市内の保育園から見学もありました。令和6年3月時点の定員充足率は、112.5%となりました。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、8億299万円（前年比1億1,684万円増）。人件費は、5億3,275万円（前年比5,970万円増）。経費は、1億8,222万円（前年比1,660万円増）となり、事業の収益性を表す経常増減差額は、5,014万円（前年比2,925万円増）、法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、6.1%（前年比3.1%増）となりました。

II 各事業所の運営状況

法人本部

1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長・園長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。

マナハウスの老朽化対策としての大規模改修工事をマナハウス2番館新築工事と共同で行いました。

2. 人材の確保・育成及び処遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

マナハウスについては、介護職員（正職員）の離職が「ゼロ」になったことにより、離職に伴う対応をすることなく、スムーズな施設運営ができました。保育士の新規採用についても学校訪問や職員寮の案内により新卒者を確保することができました。

将来の生産年齢人口の減少を見据えた対応として、業務の切り出しを進め、障がい者雇用や地域の元気な高齢者の雇用による裾野の拡大を図りました。

【正職員の採用・退職等の状況】

事業所名	前年度末の職員数	採用者数			退職者数		法人内異動等	今年度末の職員数
		介護職員 保育士	その他 職種	(うち新卒)	介護職員 保育士	その他 職種		
マナハウス	44	6	1	(4)			-7	44
マナハウス2番館	-	4	1	(2)			5	10
大池けいあい保育園	14	6		(4)	7			13
愛宕けいあい保育園	15	4		(1)	2			17
法人本部	3							3
合計	76	20	2	(11)	9	0	-2	87

3. 福利厚生の実施

職員互助会については、4年ぶりにグループ法人の職員たちが一堂に会し、懇親会（忘年会）を開催しました。参加人数は300名に達しました。その他、屋形船での交流会、ソフトバンクホークスの観戦チケット・映画鑑賞券の配布を行いました。

年に1度、職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行い、衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

マナハウス

1. 運営実績報告

令和5年度は、テクノロジーを活用した介護による生産性向上（介護サービスの質の向上と負担軽減の同時実現）を本格的に実践することができました。介護職員による胃ろうと喀痰吸引も変わらず実践できており、医療ニーズの高い利用者においても職員負担を軽減した運営を実践することができました。稼働については、入院日数を減らすことができず、目標稼働率95.1%に達することができませんでした。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別養護老人ホーム	69名	95.6%	93.4%	95.6%
ショートステイ	11名	86.7%	101.0%	88.6%
入居全体	80名	94.4%	94.4%	94.6%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ入居者数		43名	37名	45名
延べ退居者数		43名	35名	45名
延べ入院日数		943日	924日	1,121日
平均介護度		4.01	3.95	3.92
割合	介護度1	1.5%	0.0%	0.0%
	介護度2	1.7%	1.6%	1.4%
	介護度3	23.4%	29.5%	35.3%
	介護度4	41.2%	41.2%	33.6%
	介護度5	32.2%	27.7%	29.7%

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたと同時に、面会や外出の制限を一切撤廃しましたが、面会や外出に起因する感染は生じませんでした。定時での消毒および換気、発熱者（利用者、職員）への抗原検査を実施することで、感染は発生するものの、最小限度に留めることができました。

介護面では、福岡県ノーリフティングケア普及促進事業に取り組み、ノーリフティングケア（浴室レール式リフトや床走行式リフト、Hug、ボード、シート、グローブなどの導入と職員の意識改革）を実践することで、介護職員の腰痛減少とともに安心安全な介護を実現でき、職員利用者ともに満足度が向上しました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
転倒・転落・接触	3件	19件	7件
誤薬・誤嚥・異食	0件	0件	0件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	0件	(胃瘻の抜去) 1件	(胃瘻の抜去) 1件
合計	3件	20件	8件

3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、外部研修がオンライン研修と集合対面研修を併用したものが多く開催されるようになり、双方のメリットを活用しながら受講を重ねることができました（44回延べ108人受講）。内部研修においても同様に録画したものを活用し、受講機会を確保しています。また、外部講師をお願いすることでより効果的な研修を実施することができました。

【主な内部研修】※参加数は、教材・レポート等による自己研修を含む。

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	基本理念、ハラスメント、事業計画	52名	10月	人間関係とコミュニケーション	50名
5月	褥瘡	52名	11月	認知症	52名
6月	リスクマネジメント、食中毒	52名	12月	人間の尊厳と自立	51名
7月	看取り	51名	1月	身体拘束廃止虐待防止事故対策	52名
8月	身体拘束廃止、虐待防止、権利擁護	51名	2月	急変時対応、オンコール	52名
9月	感染症	52名	3月	接遇	50名

4. 行事報告

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより、外部ボランティアや資源を積極的に活用し、様々な行事を展開することができました。利用者の誕生日に合わせ、一年に一度願いを叶える取り組みを本格的に稼働しました。

【主な行事】

	行事名
春	桜花見、オムライス作り
夏	ナイトマナカフェ 流しそうめん スイカ割り
秋	コスモス鑑賞 敬老会 西陵高校文化祭 ちらし寿司
冬	居酒屋マナカフェ クリスマス会 忘年会（お寿司とぜんざい食べながら） 獅子舞 節分 チョコフォンデュ&チーズフォンデュ 餃子チヂミパーティー
通年	誕生日会 ネイル 音楽療法 いきいき美容教室
願い事叶え	映画鑑賞（すき焼き食べながら） 焼き肉 木の葉モール買い物 サンカクヤ買い物 温泉

5. 地域貢献活動

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、地域活動も本格的に再開されるようになりました。地域カフェである「ふら〜っとカフェ壱岐南」、地域ボランティア支援事業である「壱岐南てつだい隊」へ積極的に参画しました。

認知症の啓発のため、子どもや地域向けに「認知症サポーター養成講座」や「ユマニチュード講座」は壱岐南校区のみならず、周辺地域より依頼を受け実施しました。

子どもの学習・食事支援「学 viva」は再開したものの情報発信方法に苦慮し参加者は乏しいものでしたが続けることに意味を見出し継続していきます。

地域包括ケアシステム構築に向けた「地域包括ケア壱岐南モデル準備室」、事業所ネットワーク「西第4,7地域医療福祉ネットワーク」は中止となりましたが、再開に向け準備を始めています。

マナハウス 2 番館

1. 運営実績報告

令和 5 年 5 月に新規開設し、今年度は満床とその後の稼働率の安定を目標とした。10 月には 29 名の登録を達成したが、入院等が重なり、満床となったのは 12 月であった。その後の稼働率は安定している。

また、1 年目ということもあり、当初はオペレーションもうまく機能しなかったが、入居者増に伴いオペレーションの改善を続け、現在はスムーズに動いている。職員の動きや人数もまだまだ省力化できるところがあるものと思われる。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和 5 年度
介護付き有料老人ホーム	69 名	73.6%

2. 安全衛生管理状況

感染症については、定時での消毒および換気、面会者へのマスク着用、手洗い消毒の徹底、入居者・職員の発熱者への抗原検査などを実施。幸い入居者のコロナウイルス等の感染症発症者はいなかった。

介護面では事故防止のための各居室や共有スペースの環境整備を行い、予防に努めた。また、事故後の対応についても看護、介護、管理者との連携にて迅速に対応することができた。

【行政への事故報告件数】

内容	令和 5 年度
転倒・転落・接触	2 件
誤薬・誤嚥・異食	0 件
打撲・皮膚剥離	0 件
食中毒・感染症	0 件
その他	0 件
合計	2 件

3. 職員研修

介護の質の向上のため、マナハウスと合同での内部研修や、それを録画したものを活用し、受講機会を確保している。外部研修においても積極的に参加できている。

また、開設前の 4 月には外部講師をお呼びし 2 番館のコンセプトでもあるローレンの研修も実施。開設間もない施設であるため、毎月ミーティングを実施し、質の向上と利用者満足度の向上に努めた。

【主な内部研修】※参加数は、教材・レポート等による自己研修を含む。

	研修名	参加数		研修名	参加数
4 月	基本理念、ハラスメント、事業計画	15 名	10 月	人間関係とコミュニケーション	15 名
5 月	褥瘡	15 名	11 月	認知症	15 名
6 月	リスクマネジメント、食中毒	15 名	12 月	人間の尊厳と自立	15 名
7 月	看取り	15 名	1 月	身体拘束廃止虐待防止事故対策	15 名
8 月	身体拘束廃止、虐待防止、権利擁護	15 名	2 月	急変時対応、オンコール	15 名
9 月	感染症	15 名	3 月	接遇	15 名

4. 行事報告

新型コロナウイルスも5類へ移行したことに伴い、マナハウスでの対面にての行事も再開。マナハウスと合同でナイトマナカフェ、敬老会、クリスマス会を実施した。また、2番館独自に季節の行事を実施してきた。2番館だからできる入居者・家族・職員全員参加型の行事を今後も実施していく。

【主な行事】

	行事名
春	桜花見、母の日（ちらし寿司）、父の日（焼肉）
夏	ナイトマナカフェ、そうめん流し、夏祭り、野菜収穫
秋	コスモス花見、敬老会
冬	クリスマス会、忘年会（すき焼き）、野菜収穫、居酒屋マナカフェ
通年	誕生会、散歩、買い物、外食、お菓子作り

5. 地域貢献活動

地域カフェである「ふら〜っとカフェ壱岐南」に積極的に参画。また、2番館入居者が製作した縫い物や編み物などを展示販売。入居者の皆さんにも参加して頂き、地域活動に入居者も参加して頂く形で実施してきた。

また、地域企業での認知症サポーター養成講座の実施や、小学校での車椅子体験、認知症キッズサポーター養成講座の実施、ラン伴の参加、地域夏祭りのお手伝い、校区の防災訓練参加、壱岐野方商店連合イベント等の企画や運営などを行ってきた。

大池けいあい保育園

1. 運営実績報告

保育活動では、裸足でのどろ遊びや畑での野菜づくり、花壇の世話等で情操を育て、ターザンロープや登り棒などでの感覚機能が発達し、逆上がりを7回転する子やとび箱7段を飛べる子など、身体能力が顕著に育っています。保育方針として掲げているアクティブラーニングが浸透し、運動会の種目決めや司会進行、リレーの出走順決め等を子どもたちが担うなど、行事自体が子ども主体となって対話的に計画実施する活動となってきました。運動会には保育・教育関係の6施設から見学に来られ、次世代の運動会スタイルとして子どもたちの活動を見ていただきました。

見学に来園される保護者や保育関係者から、「子どもたちの主体的で自立した生活」に高い評価をいただき、入園児は3月時点で121.3%を達成しています。

【園児数】

クラス	年齢	定員	令和5年 4月時点	令和6年 3月時点	定員充足率
たんぽぽ組	0歳	12名	6名	12名	100.0%
すみれ組	1歳	12名	16名	16名	133.3%
れんげ組	2歳	14名	16名	16名	114.3%
ゆり組	3歳	14名	18名	18名	128.6%
ひまわり組	4歳	14名	18名	18名	128.6%
さくら組	5歳	14名	18名	17名	121.4%
合計		80名	92名	97名	121.3%

2. 行事報告

プール開き、七夕、クリスマス、節分などの行事では、神事として全園児で礼拝するなど、厳かな雰囲気を体験しながら、園児の「心」を育てることを意識しました。

【主な行事】

	行事名
春	ひなまつり、卒園旅行、卒園式、親子遠足、サッカー大会参加
夏	交通教室、プール開き、スイカ割り、即興劇鑑賞、子どもバンド演奏会
秋	運動会、マリンバ鑑賞、いもほり〜クッキング、七五三参拝、遠足
冬	劇団鑑賞、Xmas演奏会、オカリナ演奏会、初詣、節分
通年	身体測定、畑で野菜づくり、お誕生日祝い、お弁当の日

3. 職員研修

「人権に配慮し子ども一人ひとりの人格を尊重する」という保育理念に沿っての研修を実施しました。また、アクティブラーニングのOJTや一人称ワークにも継続的に取り組みました。キャリアアップ研修では、eラーニングを中心に延べ7人が9単位の講義を受講しました。

【主な施設内全体研修】

①保育指導&インプロ：6月(20名)・10月(18名)、②CAP：7月(16名)、③保育心理：8月(18名)

	職員会議での研修内容	参加数		職員会議での研修内容	参加数
4月	理事長メッセージ	18名	10月	おどさない、急かさない	14名
5月	求められる職員像	18名	11月	メリハリのある保育	17名
6月	福岡市の保育制度	20名	12月	叱らない保育	19名
7月	保育料と教材・給食費	18名	1月	安心して失敗できるとは	18名
8月	行事と保健衛生	17名	2月	次年度方針	19名
9月	虐待対応と予防	15名	3月	指導計画は必要か	16名

愛宕けいあい保育園

1. 運営実績報告

コロナが5類になり、ようやく保育士もマスクを外した姿で保育ができるようになりました。これまで目でしか大人の表情が見られなかった子どもたちが、安心して毎日が過ごせる日常が戻ってきました。今年度は、「子どもを主体にする保育」「安心して失敗できる毎日を保障する」保育園を見学したいと市内の保育園から見学もありました。

保育士不足でスタートしましたが、中途採用やパート職員の採用で運営し、年度末には0歳児も125.0%の入所になりました。

【園児数】

クラス	年齢	定員	令和5年 4月時点	令和6年 3月時点	定員充足率
たんぽぽ組	0歳	12名	4名	15名	125.0%
すみれ組	1歳	12名	15名	15名	125.0%
れんげ組	2歳	12名	14名	14名	116.7%
ゆり組	3歳	14名	15名	15名	107.1%
ひまわり組	4歳	15名	18名	18名	120.0%
さくら組	5歳	15名	13名	13名	86.7%
合計		80名	79名	90名	112.5%

2. 行事報告

今年度は、西区能古島の保育園とも交流が始まり、4、5歳児が甘夏がり、ブルーベリー刈りに参加しました。毎年行っている『保育参加』が、保護者の方にも好評で、父親の参加がとても多く、育児に関わっている方がとても多い印象です。

【主な行事】

	行事名
春	入園式 保護者懇談会 親子遠足
夏	プール開き スイカ割り しぼり染め 1年生交流会
秋	運動会 秋祭り いもほり〜クッキング 敬老のお祝い 年長お楽しみ会
冬	クリスマス会 親子観劇会 節分 お別れ遠足 卒園式
通年	誕生会 避難訓練 園児健診 歯科検診 保育参加 保護者面談

3. 職員研修

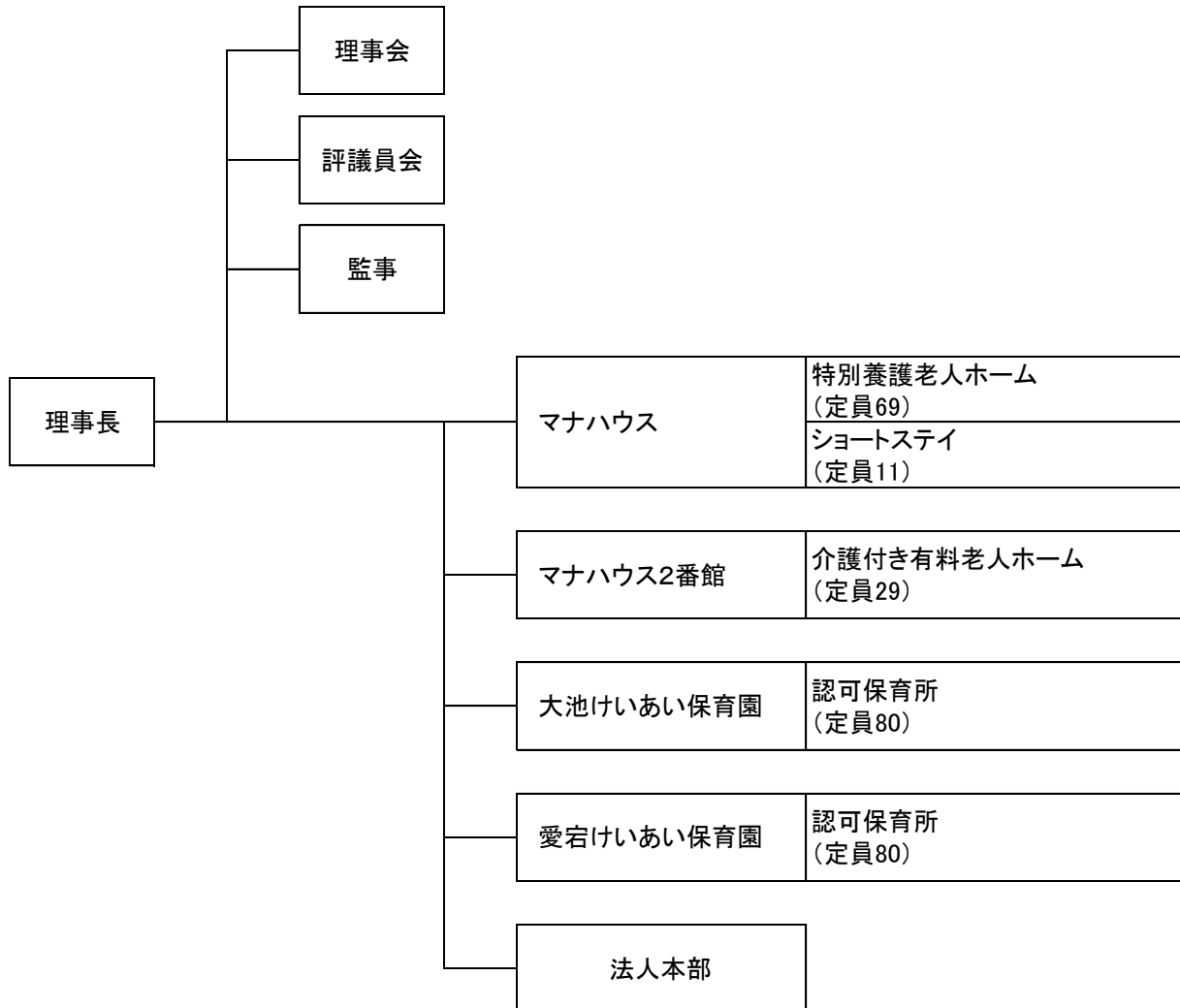
毎月の職員会議では、園内研修を行っています。今年度は、県外の保育施設へ視察研修を始めました。参加した保育士の学びが多く、職員会議では毎回熱い報告会が開かれ、職員間で共有することができました。また、近隣の大学から講師を招き、保護者学習会、職員研修会を開きました。系列の保育園からも参加をしてもらい、学びを深める機会になりました。

【主な施設内研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	1年間の保育目標	16名	10月	育児マニュアルづくり	16名
5月	以上児行事について	16名	11月	ノロウィルス 育児マニュアル	15名
6月	研修報告と今後	16名	12月	研修報告と今後	15名
7月	さぼ〜と保育について	15名	1月	感染症について	16名
8月	発達を促す遊びを考える	16名	2月	育児マニュアルづくり	16名
9月	子どもとメディアを考える	14名	3月	一年の振り返り	16名

III 組織図

令和6年3月31日現在



【職員数】(※派遣職員除く。)

施設名	介護職		看護職		保育士		他の専門職		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
マナハウス	34	4	3	5			8	7	61
マナハウス2番館	9	2	1	1			2	3	18
大池けいあい保育園					15	2	4	1	22
愛宕けいあい保育園					13	5	4	1	23
法人本部							3		3
合計	43	6	4	6	28	7	21	12	127

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人さわら福社会
理事長 益田康弘